

# AMDA医療救援活動通じ国際貢献を

# 学校企業で 支援の輪

## 児童、生徒が募金活動

## カード発行、グッズ販売 企業



岡山市内の高校生徒会で結成した「ボランティア高校生会」の第2回会議。6月23日、岡山市榎津

アジア医師連絡協議会（AMDA、本部岡山市榎津）の世界各地での医療救援活動が注目される中、岡山県内の学校、企業でAMDAを支援する取り組みが相次いでいる。企業と連携し、ロゴマークを利用した商品作りなど、新たな試みも始まっており、AMDAを通じ、国際貢献の輪は着実に広がっている。

### 岡山県内

中山小学校（岡山市一宮）にそれぞれ児童役員が登壇し、馬屋下小学校（岡山市松尾）の児童はAMDA支援している。馬屋下小の藤原澄江校長は「児童が小遣いの一部を自主的に寄付する活動の輪を全校生徒に広げている。中山小は三年前から毎月二十一日を「友情募金」、二十二日を「友情募金」、馬屋下小では毎月十五日を「AMDAデー」と定め、AMDAの仲介で、今

同カードは同社の営業店や加盟店約三万店で買い物やキャッシングした際に、利用金額の〇・五％を同社が負担し、AMDAに寄付する仕組み。現在加入者は個人約千人、一法人、三年後には十万人に増やす計画で、年間約千七百万円の援助を予定している。

六月には岡山、倉敷市内の繊維、自動車部品、食品製造会社など中小企業七社で結成した「神戸内改革振興会」が「AMDAのロゴマーク」をブランド化する計画を発表。商標の利用契約を販売する。

売り上げの一部をロイヤリティとしてAMDAに寄付するほか、砂漠、寒地帯など過酷な環境で救援活動を行うAMDAメンバーの支援に、強度、防水性に優れたジャンパーやバッグなど岡山市内の八高の生協で組織する「ボランティア高校生会」も結成された。被災した学校を再建しよう



近藤拓次AMDAM事務局長は「一時的な協力ではなく、産業界、学生が意の長い支援に立ち上がってくれたのは、岡山にボランティア精神が根づき始めた証拠。岡山が世界のNGO（非政府組織）活動の拠点都市として名乗りを上げる日も近いのではないかと、ボランティアの輪の広がりに期待している。

冬、中国・雲南省で発生した大震災の救援活動を支援しよう、と五月には一宮、岡西、岡山東商など岡山市内の八高の生協で組織する「ボランティア高校生会」も結成された。被災した学校を再建しよう  
と、三百万円といわれる校舎の再建費用を校内や街頭での募金活動でねん出していく。大安寺高校生徒会の松嶋文代会長（二〇一三年）は「他の高校にも参加を呼び掛け、ボランティア活動の輪を広げていきたい」と意気込む。

一方、企業では「全日本信販」（本社岡山市丸の内）がAMDAを提携し、四月からクレジットカード「AMDAカード」を発行。